

令和5年度 事業報告書

自 令和 5 年 4 月 1 日

至 令和 6 年 3 月 31 日

社会福祉法人

多可町社会福祉協議会

令和5年度 事業報告

令和5年度は、「第4次地域福祉推進計画（あったかささえあいプラン）」（令和3年度～令和7年度）に基づく取り組みの中間地点であり、地域住民等で組織する外部委員会を立ち上げ、進捗状況の点検や評価・見直しを行いました。その評価・見直しを踏まえ、基本目標「みんなが安心して暮らせるまちづくり」の実現に向け4つの推進目標と5つの活動目標を基に福祉活動を展開いたしました。4つの推進目標の内「きづく」「つながる」「ささえあう」の3点を重点活動と定め、その重要性をさらに地域へ広げるため、活動目標である5つの「ほっとけない」に取り組みました。

地域の中での課題や困りごとに気づき解決していくことを目的に、集落単位では、ふくし防災マップ（宝物マップ）づくりや生活支援アンケート調査などの支援を行い、住民相互の見守り・支え合いをするための話し合いの場の推進に努めました。また、小学校区単位での研修会や、すでに活動を始めている生活支援活動団体等の情報交換会を行いました。

新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行に伴い、地域でのふれあいいきいきサロンが多く集落で活動再開となり、実施回数の増加やサロンの新規立ち上げに伴う支援ができました。

生活困窮者の支援では、住民の皆さまから食品の寄付をいただき、生活に困られている世帯に提供することができました。また、誰もが安心して暮らせる地域共生社会の実現を目指し、多可町内の8つの社会福祉法人で「多可町社会福祉法人連絡協議会（ほっとかへんネット多可）」を設立しました。

介護事業においては、アンケート実施により、利用者及び家族の想いを知ることによってサービス内容の充実、質の向上を図り、在宅生活を支援することができました。

以下、令和5年度の各事業等について報告します。

基本目標 「みんなが安心して暮らせるまちづくり」

多可町社会福祉協議会では、地域福祉の推進を住民のみなさんと一緒に進めるため、基本目標を「みんなが安心して暮らせるまちづくり」と掲げています。

推進目標

基本目標を実現するために、4つの推進目標を設定しています。

- 【1】きづく（重点活動）
- 【2】つながる（重点活動）
- 【3】ささえあう（重点活動）
- 【4】ささえる

活動目標

基本目標と推進目標を進めるため、下記の活動目標を設定しています。これを基に福祉活動を展開しています。

- 【活動目標1】 地域づくりをほっとけない！できる助け合いが健康長寿への道
- 【活動目標2】 通院、買い物などの移動に困っている人をほっとけない！
- 【活動目標3】 できないことをほっとけない！
社会福祉法人や商工会、ボランティア団体などとの連携を図ります
- 【活動目標4】 知らない人をほっとけない！関わりの薄い層への啓発
- 【活動目標5】 ほっとけない！の積み重ね。住民から信頼される職員と組織づくり

■福祉学習の推進（推進目標1／きづく）**重点**

みんなが安心して暮らせるまちづくりを進めるため、福祉に関心を持ってもらい、ボランティア活動などへの理解やきっかけづくりの場として、ボランティアや当事者と一緒に学校で福祉学習を行いました。

また、町内の学校・認定こども園・キッズランド等の福祉学習事業に対して助成を行いました。

《学校での福祉学習の開催》

	小学校	特別支援学校	高等学校
今年度実施回数	5校 43回	0回	1回
前年度実施回数	5校 39回	1回	1回

実施団体	実施回数	内容
中町北小学校	8回	ボランティア学習、高齢者疑似体験、車いす体験、手話体験、点字体験、アイマスク体験、朗読体験、サウンドテーブルテニス体験、認知症サポーター養成講座
中町南小学校	10回	
杉原谷小学校	9回	
松井小学校	8回	
八千代小学校	8回	
多可高等学校	1回	社協の活動や多可町の地域福祉の現状と取り組み説明

《学校・認定こども園・キッズランド等への助成》

	助成団体数	助成額
今年度助成実績	16団体	780,000円
前年度助成実績	13団体	635,000円

助成団体	助成額	内容
北はりま特別支援学校	50,000円	プランター寄贈交流、さつまいも苗植え、芋掘り交流
多可高等学校	50,000円	福祉学習、ボランティア活動、多可高ちいきふれあいプロジェクト
中町北小学校	50,000円	福祉学習
中町南小学校	50,000円	福祉学習
みどりこども園	50,000円	さつまいも苗植え、さつまいも掘り、祖父母とのふれあい等
あさかこども園	50,000円	祖父母参観と交流
四恩こども園	50,000円	夏まつり、正月集会等
加美中学校	50,000円	生徒会ボランティア、赤い羽根共同募金活動、ペットボトル・キャップ回収活動、能登半島地震災害支援募金
杉原谷小学校	50,000円	福祉学習

松井小学校	50,000円	福祉学習
キッズランドかみ	50,000円	さつまいもの苗植え、芋掘りと焼き芋等
八千代中学校	50,000円	北はりま特別支援学校との交流会
八千代小学校	50,000円	福祉学習
キッズランドやちよ	50,000円	さつまいもつるさし、きらきらまつり、とんど等
ちびっこランドらくえん	30,000円	野菜栽培体験、地域の人との交流、高齢者との交流
子育てふれあいセンター	50,000円	ファミリーフェスタ、たかっこフェスタ、ふれあい交流会
	780,000円	

財源	赤い羽根共同募金配分金
----	-------------

■生活支援体制整備事業

(推進目標1/きづく、推進目標2/つながる、推進目標3/ささえあう) **重点**

生活の中での課題や困りごとについて住民相互の支え合いの中から解決していくことを目的として、集落での「ふくし防災マップ(宝物マップ)」づくりやアンケート調査の支援をすることをきっかけに、集落における話し合いの場の設置を推進しました。

また、集落における話し合いや助け合いを始めるための研修会を開催するとともに、集落における助け合いの必要性をまとめた「つながる“わ”」を社協だより多可に毎月掲載、「つながる“わ”」の特別号を2ヶ月に1回作成し、地域づくりを促進しました。

《集落等での活動の実施》

	今年度	前年度
実施回数	34回	39回

実施集落		実施回数	支援内容
中町北小学校区	門前	1回	ふくし防災マップの更新と防災ゲームクロスロードの開催
	牧野	1回	介護保険制度と社協の福祉サービスの勉強会
中町南小学校区	曾我井	1回	ふくし防災マップの更新
	中安田	1回	ふくし防災マップの更新と防災ゲームクロスロードの開催
松井小学校区	豊部	6回	支え合い活動の検討、支え合い活動に向けたアンケートの実施、ふくし防災マップの更新(谷ごと)
	熊野部	1回	ふくし防災マップの更新
	的場	1回	的場支え合う会の活動(困っている人の把握と声かけ、支え合い活動の実施)

松井小学校区	寺内	4回	寺内ささえあう会の活動（困っている人の把握と声かけ、支え合い活動の実施）等
	西脇	1回	民生委員・協力委員とアンケートの相談
八千代小学校区	下村	1回	マイ避難カード実践形式訓練
	中三原	3回	支え合い活動の検討

関係機関との情報交換	実施回数	内容
ちよいボラグループやちよお助け隊	2回	スタッフ会議
たかビスケット	4回	コアメンバー会議、全体会、打ち合わせ
商工会	2回	買い物支援についての打ち合わせ
学区社協立ち上げ者	1回	京都市左京区社協の学区社協の成り立ちや活動内容について
地域運営組織検討委員会	3回	趣旨説明とグループワーク、玉木新雄のトークライブ“あたりまえを疑え”、グループワーク「2040年の多可町を考える」
ケアマネ連絡会	1回	ケアマネ連絡会と地域福祉課との情報交換会

《研修会・情報交換会の開催》

開催日	開催場所	参加者数	内容
6月4日	加美コミュニティプラザ	43名	寺内集落の活動報告、活動報告の感想、「集落でどのような活動をしてみたいか」の話し合い
8月9日	加美コミュニティプラザ	14名	「集落でされていること、しようとされていること」「集落でできること、できないこと」の話し合い
12月5日	社協本部	32名	ふくし防災マップづくりについて
1月24日	社協本部	12名	生活支援活動団体・グループ情報交換会

財源	町受託金
----	------

■多可町社会福祉法人連絡協議会（ほっとかへんネット多可）と連携

（推進目標2／つながる、推進目標4／ささえる）

多可町内で福祉事業に取り組む社会福祉法人が高齢・障害・児童等の福祉分野を超えて、情報交換や課題共有し、誰もが安心して暮らせる地域共生社会を実現するため、多可町社会福祉法人連絡協議会（ほっとかへんネット多可）を設立しました。

内容	開催回数	内容
設立総会・ 記念講演会	1回	・7月31日 テーマ：社会福祉法人の「地域における公益的取り組み」と社会福祉法人連絡協議会(ほっとかへんネット)について 講師：兵庫県社会福祉法人連絡協議会 代表者等連絡会 代表 澤村安由里 氏
正副会長会	1回	・9月7日 実務担当者会議の内容、リーフレット作成について
実務担当者会議	3回	・10月11日 会議日程、活動内容、リーフレット作成について ・12月5日、1月25日 フードドライブ、リーフレット作成について
代表者会議	1回	・2月9日 令和6年度総会について

■生きがい活動支援通所事業の実施（推進目標1/きづく、推進目標2/つながる）

町からの受託事業として、在宅で生活しているおおむね65歳以上の高齢者が家に閉じこもりがちにならないよう、集落の公民館等で地域介護予防講座やあったか講話を開催しました。

地域介護予防講座では、「いきいき百歳体操」の普及啓発等を行うことによって、心身機能の維持向上や閉じこもりの防止に努めました。また、あったか講話では、助け合いを疑似体験できる「新・助け合い体験ゲーム」を実施し、お互いにできることを担い支え合う関係性を考えることにより、生きがいや介護予防、集落の地域づくりにつなげることに努めました。

開催場所	集落公民館等
------	--------

《地域介護予防講座》

今年度実施回数	114回（中区 39回、加美区 43回、八千代区 32回）
前年度実施回数	100回（中区 31回、加美区 43回、八千代区 26回）
今年度参加者数	1,691名（中区 678名、加美区 638名、八千代区 375名）
前年度参加者数	1,527名（中区 536名、加美区 669名、八千代区 322名）

《あったか講話》

今年度実施回数	55回（中区 18回、加美区 21回、八千代区 16回）
前年度実施回数	48回（中区 16回、加美区 18回、八千代区 14回）
今年度参加者数	777名（中区 293名、加美区 289名、八千代区 195名）
前年度参加者数	751名（中区 279名、加美区 283名、八千代区 189名）

財源	町受託金
----	------

■特別支援学校への支援（推進目標1／きづく）

障がいや特別支援学校を地域の人に理解してもらうため、さつまいも苗植え、さつまいも掘りと
いった学校行事の際にボランティアの派遣を行い、交流会を実施しました。

内容	開催日	派遣者数
さつまいも苗植え交流会	5月10日	11名
さつまいも掘り交流会	10月25日	7名

■社協だより多可、たかテレビ等による情報発信（推進目標1／きづく）重点

社協だより多可、ホームページは、「見やすく」「分かりやすく」、タイムリーな情報提供がで
きるよう工夫しています。また、X（旧Twitter）、Facebook、LINEも利用し情報がより多くの住民
に届くよう努めました。

さらに、たかテレビの『あっ！たかインフォ』などを活用し、社協活動を積極的にPRしました。

媒体	今年度発信回数	前年度発信回数
社協だより多可	12回	12回
社協ホームページ	46回	66回
Facebook、X（旧Twitter）、LINE	324回	319回
たかテレビ「あっ！たかインフォ」	12回	10回

《たかテレビ「あっ！たかインフォ」で放送したもの》

- ・ 小学校向け福祉学習
- ・ 社協会費
- ・ 傾聴ボランティア
- ・ 赤い羽根共同募金
- ・ ボランティア募集
- ・ 日常生活自立支援事業
- ・ 社協ガイド
- ・ 地域づくり研修会
- ・ 障がい者スポーツ大会
- ・ 歳末たすけあい募金
- ・ 福祉機器、福祉車貸出事業
- ・ 地域福祉活動助成事業

財源	社協会費、善意銀行
----	-----------

■社協ガイドの作成（推進目標1／きづく）

社協活動や事業を地域の方に理解してもらうために社協ガイドを作成し、全戸配布しました。た
かテレビのあっ！たかインフォでも5月に放送し啓発しました。

財源	社協会費
----	------

■介護者だよりの発行（推進目標1／きづく）

介護に役立つ情報や介護者の会の活動をお知らせするために「介護者だより」を毎月発行し、町
内の介護者に配布しました。

財源	赤い羽根共同募金配分金
----	-------------

■社協まつりの開催（推進目標1／きづく、活動目標2／つながる）

福祉についての理解と関心を高め、地域の支え合い・助け合い、福祉のまちづくりについて考える機会とするため、地域住民や各種団体・関係機関等と連携し開催しました。今回は全盲の落語家 桂 福点 氏にご講演いただき、視覚障がい理解を深めるとともにたくさん笑って楽しんでいただきました。今年度は新型コロナウイルスが5類に見直されたこともあり、障がい者事業所や商工会、キッチンカーや団体・グループの協力で17ブースに出店していただきました。

開催日	7月16日（日）
開催場所	ベルディーホール

来場者数	約400名
------	-------

財源	赤い羽根共同募金配分金
----	-------------

■バス乗車体験会の開催（推進目標1／きづく）

通院や買い物の移動手段として、バスの乗車体験会を開催しました。杉原谷小学校区と八千代小学校区の一部の集落を対象として、中区で買い物や昼食をする内容で実施しました。

今年度		前年度
開催日	参加者	参加者
6月30日	10名	14名
11月24日、30日	12名	52名

財源	赤い羽根共同募金、参加費
----	--------------

■各種ボランティア養成講座、研修会等の開催（活動目標1／きづく）重点

ボランティアの育成やスキルアップ、またボランティア相互の交流を図るために、各種講座や研修会、交流会を開催しました。講座等ではアンケートなどを実施し、ボランティア依頼や次回講座のための参考にしました。

30～40代の若い世代がボランティア活動に関わるとともに、将来のボランティア活動者を育成するため、夏休みに「親子防災教室」を開催し、子ども7名、その保護者5名、計12名の参加を得ました。

また、老人クラブ若手委員、理事を対象にボランティア体験を実施し、新たに述べ11名のボランティア活動者が増えました。

今年度開催回数／延べ参加人数	10種 40回 延べ 227名参加
前年度開催回数／延べ参加人数	10種 24回 延べ 125名参加

内容	開催日	延べ参加者数	開催場所
朗読ボランティア養成講座	6月13日～ 10月10日	59名	社協本部
点訳ボランティア養成講座	6月17日～ 12月2日 全12回	24名	播磨内陸生活文化総合 センター（ドウジウム）
介助ボランティア養成講座 （ガイドヘルプ）	7月9日	8名	アスパル
夏休みボランティア体験 （親子防災教室）	8月2日	12名	八千代コミュニティプラザ
傾聴ボランティア養成講座	8月25日、 8月30日	12名	社協本部
介助ボランティア養成講座 （車いす介助）	10月30日	5名	加美コミュニティプラザ
ボランティア交通安全教室	10月31日	16名	八千代コミュニティプラザ
リスナーとボランティアのつどい	11月21日	11名	社協本部
ボランティア体験	12月4日～ 12月28日	17名	各区
ボランティア研修会	3月8日	63名	ベルディーホール

財源	県社協補助金、県社協受託金、介護保険事業繰入、善意銀行、参加費
----	---------------------------------

■ボランティアに関する相談・コーディネート・支援

（活動目標1／きづく、活動目標3／ささえあう）

ボランティアセンターにおいて、活動に関する相談の受付、調整、支援を行いました。また、令和4年度に役場が実施された「健康と暮らしの調査」の結果を基に声かけを行い、新たに3名のボランティア活動者が増えました。

活動内容	今年度 事業名（依頼先）	今年度 派遣 回数	今年度 延べ 派遣 人数	前年度 派遣 回数	前年度 延べ 派遣 人数
調理・配送・回収	ふれあい型給食サービス	96回	1,092名	94回	966名
交流	障がい者の事業所とボランティアの交流、障がい者とボランティアのつどい、北はりま特別支援学校	29回	95名	26回	95名
訪問	地域見守り訪問	47回	103名	49回	117名
介助	青い鳥学級	2回	6名	1回	2名

託児	健康課、生涯学習課、子育てふれあいセンター、総務課	9回	27名	12回	33名
運転	外出支援サービス	85回	85名	164回	164名
運転・介助	買い物ツアー、介護予防教室	233回	524名	139回	252名
傾聴	在宅	23回	46名	27回	54名
音訳	朗読CD・テープの貸出	46回	343名	48回	228名
レクリエーション	いきいきサロン、やすらぎの郷、しあわせ荘、清爽の里、老人クラブ	69回	133名	5回	22名
行事手伝い	社協まつり、障がい者スポーツ大会	2回	20名	1回	2名
補助	学校向け福祉学習、元気あっぷ広場	51回	104名	43回	86名
災害	香美町	1回	5名	—	—
認知症サポーター	絆カフェ	9回	18名	—	—
合計		702回	2,601名	609回	2,021名

■ふれあいいきいきサロン活動の支援

(推進目標1/きづく、推進目標2/つながる) **重点**

地域住民が気軽に集まり、つながりと生きがいを持ちながら互いに助け合い、誰もが地域でいきいきと安心して暮らせることを目指し、サロンスタッフ研修会の開催、レクリエーション遊具の貸出、活動経費の一部助成、サロンに関する各種相談など、サロンへの支援を行い、多くの地域でサロンが開催されるよう努めました。

内容	開催日/回数	参加者数	開催場所
サロンスタッフ研修会	4月15日/1回	42名	八千代コミュニティプラザ

	サロン数	実施回数	活動助成件数
今年度実績	43地区	315回	43件
前年度実績	40地区	277回	40件

財源	社協会費
----	------

■あつたかわくわくスタッフ支援事業の開催

(推進目標1/きづく、推進目標2/つながる) **重点**

集落でのつどいの場を広げていくことを目的として、小規模な集まりを企画、実施する立場にある方（ふれあいいいききサロンのスタッフ、コークゼミ修了生等）を対象に、高齢者向けのレクリエーションについて学ぶための研修会を開催しました。また、サロンスタッフ等が気軽に情報共有のできる機会として、年3回スタッフサロンを開催しました。

内容	開催日/回数	参加者数	開催場所
研修会	10月3日	20名	社協本部
スタッフサロン	6月21日	4名	社協本部
	10月18日	7名	社協本部
	2月21日	13名	社協本部

財源	赤い羽根共同募金配分金
----	-------------

■障がい者の事業所とボランティアの交流

(推進目標1/きづく、推進目標2/つながる)

交流を通して、障がいや事業所への理解を地域に深めています。町内4つの事業所や多可町作業所連絡会を対象に助成しました。

	今年度 助成額	今年度 実施回数	前年度 助成額	前年度 実施回数
一般社団法人S-CUBE	60,000円	11回	60,000円	10回
NPO法人みどり会	30,000円	4回	30,000円	6回
NPO法人やちよ	57,935円	10回	38,688円	7回
多可町作業所連絡会	100,000円	1回	100,000円	1回

財源	赤い羽根共同募金配分金
----	-------------

■ハートフルツアーの開催（推進目標1/きづく、推進目標2/つながる）

身体・知的・精神障がい者を対象に、社会参加や親睦・交流を図ることを目的として、グリコピア見学とランチバイキングへ行きました。日頃できないような経験をさせていただきました。

開催日	11月8日（水）
参加者数	40名

財源	歳末たすけあい募金配分金、参加費
----	------------------

■子育て支援活動助成事業の実施（推進目標2／つながる）

子育てふれあいセンターが実施する子育て親子の交流事業が充実することを目的として、100,000円の助成を行いました。

財源	歳末たすけあい募金配分金
----	--------------

■子育て応援クリスマスプレゼント事業の実施（推進目標3／ささえあう）

多可町の提唱する「子育てするなら多可町」を推し進め、子育て世帯のリフレッシュを目的に、新生児の生まれた世帯に対しクリスマスプレゼントを配布しました。

	配布世帯
今年度実績	47世帯
前年度実績	56世帯

財源	歳末たすけあい募金配分金
----	--------------

■視覚障がい者への支援（推進目標1／きづく、推進目標2／つながる）

視覚障がい者の情報保障として、社協だより多可、広報たか、議会だよりなどを音訳CD・テープへ吹き込み、視覚障がいのある希望者へ毎月届けました。また、多可町図書館にも貸出用として設置し、希望者への貸し出しを行いました。

音訳物を聞いているリスナーと朗読ボランティアの交流会を年1回実施し、内容についての要望を確認することにより、希望する情報を提供しました。

	利用者数	延べ発送件数
今年度実績	10名	90件
前年度実績	12名	124件

■障がい者スポーツ大会の開催（推進目標1／きづく、推進目標2／つながる）

町からの受託事業として、身体・知的・精神障がい者が、お互いの交流と親睦を深め、障がい者の社会参加意欲の高揚と体力の維持増進を図ることによって、障がい者の自立更生に寄与するとともに、スポーツを通じ住民の障がい者に対する理解と認識を深め、ともに生きる地域社会づくりを目指すことを目的として開催しました。

開催日	10月28日（土）
開催場所	アスパル
参加者数	93名

財源	町受託金
----	------

■福祉団体の事務および活動支援（推進目標2／つながる）

老人クラブ連合会や身体障害者福祉協会、手をつなぐ育成会、遺族会、ボランティア連絡会、介護者の会の事務局として、各種団体の運営・活動支援を行いました。

	今年度会員数
老人クラブ連合会	2,978名
身体障害者福祉協会	311名
手をつなぐ育成会	40名
遺族会	478名
ボランティア連絡会	422名
介護者の会	13名

■地域見守り訪問事業の推進（推進目標1／きづく、推進目標3／ささえあう）

敬老の日発祥の町多可町として敬老の精神を広めるために、80歳以上の一人暮らし高齢者を対象に、ボランティアや地域福祉推進委員が誕生月に訪問し、健康と長寿のお祝いに花を届けました。また、必要に応じて、日常生活の中での不安や困りごとなどを聞き取り、適切なサービスや関係機関につなげました。

	中区	加美区	八千代区	合計
今年度訪問者数	136名	61名	52名	249名
前年度訪問者数	147名	67名	56名	270名

財源	赤い羽根共同募金配分金
----	-------------

■地域福祉活動助成事業の推進（推進目標3／ささえあう）

町内の地域福祉の推進を図ることを目的とした団体・グループに助成を行うことで、住民主体の地域福祉活動の充実・活性化を図り、みんなが安心して暮らせるまちづくりを進めました。また、助成団体の活動内容を社協だより多可やかテレビで紹介し、活動の支援や周知を図りました。

	団体数	助成額
今年度実績数	9団体	320,265円
前年度実績数	7団体	260,000円

助成団体	助成額
ラベンダーパーク「さとやまの風」	20,265円
多可町介護者の会	20,000円
いこいの家「紫陽花」	30,000円
西脇点訳友の会	30,000円
子ども食堂ココメグキッチン	50,000円

チームオレンジたか	40,000円
もえぎ倶楽部	30,000円
ちよいボラグループ やちよお助け隊	50,000円
たか手話サークル	50,000円

財源	赤い羽根共同募金配分金
----	-------------

■福祉機器貸出事業の実施（推進目標4／ささえる）

在宅で介護を要する人を対象に、福祉機器を無料で貸し出し、在宅での療養生活の利便を図りました。ただし、要介護認定を受けられた場合は介護保険サービス、身体障害者手帳を取得された場合は、日常生活用具給付事業及び補装具費支給事業を優先します。

貸出品名	車いす・スロープ
貸出最長期間	6ヶ月間

	車いす	スロープ
今年度貸出件数	99件	19件
前年度貸出件数	103件	15件

財源	社協会費
----	------

■福祉車両貸出事業の実施（推進目標4／ささえる）

車いすやストレッチャーを使用しないと外出できず、かつ家庭において運転ができる家族がある人を対象に、福祉車を貸し出し、医療・保健・福祉等の利用の便を図りました。

	中区	加美区	八千代区	合計
今年度登録者数	14名	15名	12名	41名
前年度登録者数	11名	21名	10名	42名
今年度利用件数（町内）	31件	71件	18件	120件
前年度利用件数（町内）	15件	43件	31件	89件
今年度利用件数（町外）	14件	41件	9件	64件
前年度利用件数（町外）	35件	49件	24件	108件

財源	社協会費
----	------

■ふれあい型給食サービス事業の実施（推進目標4／ささえる）

老衰、心身の障がい及び疾病等の理由により見守りが必要で、おおむね65歳以上の高齢者のみの世帯等を対象に、ボランティアが調理した給食を届けました。民生委員児童委員や地域包括支援センターなどと連携を図るとともに、見守りシートの回収を通して、利用者の健康状態や不安の把握など見守り活動を促進しました。見守りシート回収のボランティア活動をより身近な方が活動することで、些細な変化に気づくことができるよう目指しています。

	中区	加美区	八千代区
調理場所	中プラザ・アスパル	交流会館	八千代プラザ
実施日	毎週木曜日		
利用料／食	200円		
今年度実施回数	49回		
前年度実施回数	47回		

	中区	加美区	八千代区	合計
今年度登録者数	51名	34名	28名	113名
前年度登録者数	51名	29名	23名	103名
今年度配食数	1,740食	872食	1,015食	3,627食
前年度配食数	1,614食	955食	968食	3,537食
今年度平均配食数	35.5食/回	17.8食/回	20.7食/回	74.0食/回
前年度平均配食数	34.3食/回	20.3食/回	20.6食/回	75.2食/回
今年度調理ボランティア数	92名	78名	81名	251名
前年度調理ボランティア数	84名	75名	91名	250名
今年度配送・回収ボランティア数	268名	175名	398名	841名
前年度配送・回収ボランティア数	169名	178名	369名	716名

財源	赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金配分金、利用料
----	---------------------------

■買い物ツアー事業の実施（推進目標4／ささえる）**拡充**

外出しにくい、おおむね75歳以上の高齢者のみの世帯を対象に、区ごとに町内での買い物のための送迎と介助を行いました。令和5年度からは月2回に回数を増やして実施しました。

	中区	加美区	八千代区
実施日	毎月第1・3火・水曜日	毎月第2・4火・水曜日	毎月第2・4火・水曜日

	中区	加美区	八千代区	合計
今年度実施回数	67回	48回	46回	161回
前年度実施回数	23回	21回	23回	67回
今年度登録者数	16名	12名	12名	40名

前年度登録者数	13名	15名	8名	36名
今年度利用者数	230名	179名	143名	552名
前年度利用者数	59名	99名	52名	210名
今年度ボランティア数	133名	140名	91名	364名
前年度ボランティア数	46名	64名	46名	156名

財源	赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金配分金
----	-----------------------

■無料法律相談の実施（推進目標4／ささえる）

年12回、弁護士による無料法律相談を開催しました。また、年3回、町内有識者の協力を得て、家事関係の悩み相談を開催しました。

	無料法律相談	調停等手続き相談
開設月	毎月第4火曜日	7月、11月、3月（第1木曜日）
開設時間	午後1時～3時（1人30分）	午前10時～12時（1人30分）
開設場所	社協本部	社協本部

	無料法律相談	家事関係の悩み相談
今年度利用者数	34名	5名
前年度利用者数	26名	2名

財源	善意銀行
----	------

■外出支援サービス事業の実施（推進目標4／ささえる）

町からの受託事業として、おおむね65歳以上の高齢者のみの世帯で、家族に車の運転できる人がなく、一般の交通機関を利用することが困難な人や下肢が不自由な人、視覚障がい者を対象に、医療機関等への送迎サービスを行い、在宅福祉の向上を図りました。

	中区	加美区	八千代区	視覚障がい者	合計
今年度登録者数	8名	7名	2名	3名	20名
前年度登録者数	11名	7名	5名	4名	27名

	中区	加美区	八千代区	合計
今年度利用件数（町内）	132件	11件	29件	172件
前年度利用件数（町内）	94件	30件	22件	146件
今年度利用件数（町外）	360件	7件	6件	373件
前年度利用件数（町外）	411件	142件	12件	565件

財源	町受託金、日赤受託金、利用料
----	----------------

■資金貸付事業の実施（推進目標4／ささえる）

生活問題を抱える世帯への援助として資金を貸し付け、世帯の生活の安定と向上を図りました。生活福祉資金は県社協の受託事業として、また、法外援護資金は多可町社協独自の貸付事業として実施し、民生委員児童委員と連携しながら実施しました。

《生活福祉資金・法外援護資金共通》

今年度相談件数	84件
前年度相談件数	239件

《生活福祉資金》

	通常貸付	新型コロナ特例貸付
今年度貸付決定件数／合計貸付件数	3件／26件	令和4年9月末で終了
今年度償還完了数	1件	1件、免除26件
前年度貸付決定件数／合計貸付件数	2件／24件	10件／209件
前年度償還完了数	1件	3件、免除97件

財源	県社協補助金、県社協受託金
----	---------------

《法外援護資金》

今年度貸付決定件数／合計貸付件数	0件／4件
今年度償還完了数	0件
前年度貸付決定件数／合計貸付件数	0件／5件
前年度償還完了	1件

財源	償還金、善意銀行
----	----------

■一時的食糧等給付事業（推進目標4／ささえる）

今年度の利用はありませんでしたが、一時的に経済的困窮に陥った生活困窮者への支援として食糧等の生活に必要な物資の給付を行い、その世帯の自立を促し円滑な社会生活が送れるよう支援します。多可町社協独自の事業として、民生委員児童委員と連携しながら実施していきます。

	今年度	前年度
相談件数	0件	0件
利用件数	0件	0件
給付金額	0円	0円

財源	善意銀行
----	------

■生活困窮者支援体制強化事業（推進目標1/きづく、推進目標4/ささえる）**新規**

新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた生活福祉資金特例貸付の償還期間内において、生活困窮状態が続く借受世帯等が、安心して暮らすために必要な支援と地域内のセーフティネットを充実させることで、社会的孤立・排除の解消・予防を図ることを目的として行っています。

事業として、ひとつは各家庭で余っている食品を集め、経済的に困っている世帯に対して食品の提供を行い支援するフードドライブ事業です。

ふたつ目に借受世帯に対してアンケート調査を実施し、生活課題の実態把握をしています。関係機関と協働し、安定した生活を目指した支援を行っています。

	給付者数	食品提供者数
1回目（6～7月）	11世帯21名	25名
2回目（11～12月）	50世帯108名	22名
臨時の支援	4世帯5名	—

アンケート実施	10月～12月	送付数 105世帯	回答数 50世帯
---------	---------	-----------	----------

財源	県社協補助金
----	--------

■日常生活自立支援事業の推進（推進目標4/ささえる）

県社協からの受託事業として、認知症高齢者や知的障がい者など判断能力が十分でない人を対象に、住み慣れた地域で安心して自立生活が送れるよう、福祉サービスの利用や日常的な金銭管理などの援助を行いました。事業が地域により浸透するよう、サービス内容の周知のため社協だよりに掲載、あったかインフォでも放送しました。

また、行政担当課との制度に関する情報共有を行い、後見制度との連携を進めました。

利用料/時間	1,400円（交通費は実費負担）
--------	------------------

	今年度	前年度
相談件数	141件	118件
契約者数	4名	4名
解約者数	0名	1名
派遣回数	54回	64回

財源	県社協受託金、利用料
----	------------

■ふとん丸洗いサービス事業の実施（推進目標4/ささえる）

布団が干しづらく、在宅で生活されている75歳以上の高齢者のみの世帯の要介護認定「要介護1～4」の方、要介護認定「要介護5」の方、身体障害者福祉手帳「1級」の方、家族介護用品給付事業で「おむつ」を申請されている方を対象に、利用者が使用している布団の丸洗いを行い、快適で衛生的な生活を支援しました。

利用者一人につき掛布団・敷布団・掛毛布・敷毛布をそれぞれ1枚ずつ、補助は1人7,150円までとし、超えた額は個人負担として行いました。

	回収日	返却日
実施日	6月6日(火)、6月7日(水)	6月20日(火)、21日(水)

	中区	加美区	八千代区	合計
今年度利用者数	10名	6名	5名	21名
前年度利用者数	9名	6名	5名	20名
今年度平均利用額	—	—	—	6,081円
前年度平均利用額	—	—	—	5,122円

財源	社協会費
----	------

■歳末慰問事業（推進目標4／ささえる）

歳末たすけあい募金を行い、要援護世帯や認知症の方など、新たな年を迎える時期に支援を必要とする方に慰問金を贈りました。民生委員児童委員協議会の協力を得ながら実施しました。

《個人慰問》

		中区	加美区	八千代区	配分額
A	生保受給世帯	18世帯	6世帯	2世帯	130,000円
B	準生保世帯	11世帯	8世帯	10世帯	185,000円
C	高齢者独居	54世帯	38世帯	28世帯	600,000円
D	高齢者世帯	14世帯	3世帯	6世帯	115,000円
E	母子世帯	11世帯	6世帯	3世帯	100,000円
F	父子世帯	1世帯	0世帯	1世帯	10,000円
G	寝たきり(在宅)	0世帯	1世帯	0世帯	5,000円
H	重度障がい者(在宅)	7世帯	4世帯	1世帯	60,000円
I	認知症(在宅)	1世帯	2世帯	0世帯	15,000円
	合計	117世帯	68世帯	51世帯	1,220,000円

《施設慰問》

	施設名	配分額
NPO法人	あきら多可	50,000円
	すまいる	50,000円
	c a m b i o	50,000円
	みどり会	50,000円
	ネクスト	50,000円
	やちよ	50,000円
	E s p o r t e	50,000円
	合計	350,000円

財源	歳末たすけあい募金配分金
----	--------------

■児童安全対策事業（推進目標4／ささえる）

子どもたちの健全な育成を願い、これからの生活をより安全に過ごしてもらうことを目的として、新小学一年生にヘルメットを寄贈しました。

寄贈数	今年度	前年度
	88名	132名

財源	善意銀行
----	------

■介護事業（推進目標4／ささえる）

事業所名	事業内容		今年度	前年度
居宅介護支援事業 (ケアプラン)	ケアプラン件数		1,911件	1,835件
	介護予防プラン件数		245件	226件
	認定調査件数		80件	106件
	実態把握件数		74件	98件
	認知症相談センター相談件数		26件	24件
	認知症初期集中支援チーム参加回数		11回	12回
通所介護事業 (デイサービス)	稼働日数		309日	309日
	延べ利用者数	要介護	6,491名	6,467名
		要支援等	605名	621名
	1日あたり利用者数		23.0名	22.9名
転倒予防教室		48回	43回	
生きがい活動支援通所事業	延べ利用者数		267名	220名
毎日配食事業	延べ配食数／利用者数		99食／1名	228食／4名
生きがい発揮事業（ふれあい事業）	延べ利用者数／回数		100名／4回	57名／3回
訪問介護事業 (ホームヘルパー)	訪問介護回数	要介護	8,260回	10,355回
		要支援	209回	196回
	訪問入浴回数		110回	119回
	障害サービス回数	居宅	1,996回	2,357回
		移動	108回	124回
		同行（ガイド）	96回	135回
	軽度生活支援回数		96回	98回
	養育支援回数		53回	63回
産前産後ヘルパー派遣回数		36回	83回	
認知症対応型共同生活介護 (グループホーム)	入居率（入居者数／日）		8.8名	8.4名
	グループホーム運営推進会議		6回	6回

グループホームにおいては、入院者が少なく安定した入居率を確保することができました。訪問介護事業においては利用終了となられた方が多く、利用回数も減少していますが、複合家庭への訪問により在宅生活を支援することができました。

■地域福祉推進委員会の機能強化（組織強化）

住民が主体となり、みんなが安心して暮らせるまちづくりを進めるため、地域福祉推進委員会の開催を支援しました。地域福祉推進委員は、住民の代表で構成されています。

会議名	開催回数	内容
合同会議	2回	<ul style="list-style-type: none"> ・ 6月27日 支部活動の報告、グループワーク ・ 3月15日 支部活動の報告
中支部地域福祉推進委員会	4回	<ul style="list-style-type: none"> ・ 5月23日、8月9日、11月20日、 2月19日 障がい者施設の取材と報告、啓発方法の検討 障がい者施設の取材の啓発冊子「みんな知って～な過ごす場」の作成、インクルーシブ教育の動画視聴
加美支部地域福祉推進委員会	6回	<ul style="list-style-type: none"> ・ 5月22日、7月19日、9月4日、 10月23日、12月6日、2月15日 発達障がい啓発冊子「虹のかけ橋」作成について
八千代支部地域福祉推進委員会	3回	<ul style="list-style-type: none"> ・ 5月31日、9月27日、2月22日 高齢者の困りごとの聞き取りについて

財源	社協会費
----	------

■災害救援マニュアルの推進（組織強化）

町内において地震、風水害その他の災害が発生した時に、災害救援活動を効果的、かつ円滑に実施できるよう改訂に向けて検討をしました。

■地域福祉推進計画の策定（組織強化）

第4次地域福祉推進計画に基づいて事業を実施し、地域住民や関係機関等への周知を図りました。また、中間評価を行う年度であったため、外部委員による評価委員会を立ち上げ、第4次地域福祉推進計画中間見直し書を作成しました。

評価委員会	3回（9月22日、11月9日、12月13日）
-------	------------------------

財源	社協会費
----	------

■職員会議の開催（組織強化）

定期的に職員会議を開催し、職員間での情報共有を図り、社協活動のスムーズな運営体制を築きました。

■職場内外研修会の実施と参加（組織強化）

職場内では、勉強会を実施し、職員の資質向上に努めました。

職場外では、会議や研修会に積極的に参加し、職員のスキルアップと他市町とのネットワークづくりに努めました。

■関係機関との連携強化、情報共有（組織強化） **重点**

情報共有による効率的な事業展開を図るため、関係機関との連携強化、情報の発信と受信、定期的な連絡・調整会議を開催しました。多可町地域共生推進協議会、地域ケア会議やケース検討会などの専門機関会議へ参加しました。

■社協会員への協力依頼（組織強化）

一般会員・賛助会員・団体会員で組織された会員制度を広く周知し、会員加入の促進を図りました。

	今年度	前年度
一般会費	5,506,000円	5,505,500円
賛助会費	238,000円	261,000円
団体会費	80,000円	80,000円
合計	5,824,000円	5,846,500円

■財源確保と情報公開（組織強化）

多様性に富んだ福祉事業を展開するため、社協だより多可やチラシなどで会費・共同募金等の啓発活動を行いました。共同募金配分金や善意銀行預託金の有効活用の検討を行い、使途の明確化を図りました。受託事業については、事業に見合う適正な委託金を行政へ要望し、介護事業収入については、町全域への介護事業の展開を図りました。

・善意銀行（組織強化）

	今年度	前年度
金銭預託件数／金額	106件/1,417,299円	109件/1,798,728円
物品預託件数／内容	0件	1件/米30kg

■理事会・評議員会等の開催と研修会の実施（組織強化）

- ・理事会 4回（6月6日、6月21日、12月7日、3月12日）
- ・評議員会 3回（6月21日、12月15日、3月22日）
- ・正副会長会 4回（5月30日、9月26日、12月1日、3月6日）
- ・評議員選任・解任委員会 1回（6月7日）

■その他

- ・ソーシャルワーク（相談援助）実習生の受け入れ・・・神戸医療未来大学学生1名（8/16～9/15）
- ・令和5年台風第7号災害への支援
香美町への災害ボランティア派遣
日時：8月22日（火）
人数：7名（職員2名含む）
活動内容：床下の泥かき、物の運び出し、倉庫の片付け
- ・介護相談センター及びデイサービスセンターでは、利用者アンケートを実施しました。